

企業連携技術開発支援事業のご案内

技術センターでは、企業の研究開発を支援するために、企業の皆様と当センター職員とが協働して技術課題の解決を図る「企業連携技術開発支援事業」を実施しています。この事業は、中小企業のイノベーション創出を支援することを目的に実施しており、これまで多様な分野で新技術の研究や新商品開発などに利用いただいています。ぜひご活用ください。

1 事業内容

当センター内の「企業連携技術開発室」を企業の皆様と当センター職員との協働の場として活用し、当センターが保有する基盤技術や評価技術の支援や外部との連携サポート等により、様々な技術課題等の早期解決を目指し、研究開発等の推進を図ります。

〈ポイント〉

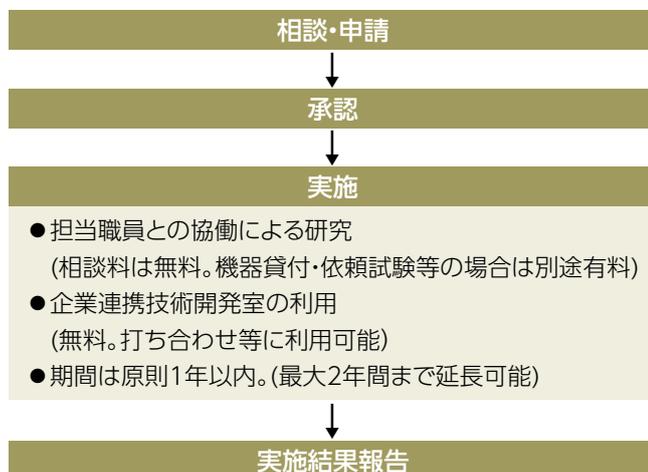
研究開発の内容に精通する「担当職員」を定め、協働して研究を進めます。その中で、他分野の技術支援が必要になった場合には、担当職員を中心に他の職員も協力します。

2 応募対象

次代につながる研究開発の提案を持ち、当センター職員と協働して技術開発等を希望される府内中小企業やそのグループ等で、京都イノベーション創出ネットワーク(KIC-Net)*に入会している企業。

*京都イノベーション創出ネットワーク(KIC-Net)は、(公財)京都産業21が設置する会員制ネットワークで、技術をキーとした産産・産学の交流プラットフォームです。新規又は進行中のプロジェクトを加速するために様々な支援メニューを用意しており、KIC-Netの会員はこれらの支援を受けることができるほか、会員間でシーズやニーズの情報交流などできます。(入会金・年会費無料)
詳細はホームページをご覧ください。<https://kic-net.jp/>

3 事業の流れ



お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@kptc.jp

4 利用事例

(1) リフロー装置における新規基板への実装の検討

(平成28年度支援事例)

実施者：京都実装技術研究会

目的：薄いフレキシブル基板や3D実装基板が必要不可欠になってきているため、リフロー装置における実装条件の検討を行う。

結果：リフロー装置での3D実装基板への実装について、実験レベルでは可能であることがわかった。(写真1)なお、実験結果は、当研究会例会や専門誌「実装技術」への投稿等により発表した。

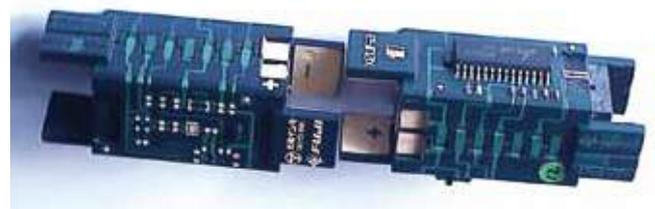


写真1 3D実装基板の例

(2) 3Dスキャナ及びプリンターを用いた木型複製技術の構築

(平成26年度支援事例)

実施者：有限会社和銅寛

目的：工芸品製作に用いる木型は、割れ・虫食い等により劣化するが、修理する職人が不在となっている。そこで、3Dスキャナ・3Dプリンターを活用して既存木型を複製し、木型代替品として用いる技術を構築する。

結果：3Dスキャナを用いて木型の形状を採取し、データ修正した後、3Dプリンターで木型代替品を作製できた。この木型代替品の文様を蝋に転写し、七宝焼の製作に用いることができた(写真2)。

本事業を機に3D-CADを導入。現在は、伝統工芸と3Dデジタル技術の融合による新たな金属工芸の創造に挑戦している。



写真2 花器